

エルサルバドル政治経済月報

(2018年10月分)

2018年11月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

内政

1. 大統領選挙キャンペーンの開始

2日，2019年大統領選挙の選挙キャンペーンが開始された。候補者は与党ファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）のマルティネス前外務大臣，最大野党国民共和党（ARENA），国民団結党（PCN），キリスト教民主党（PDC）およびエルサルバドル民主主義による選挙同盟のカジェハ・カジェハグループ副会長，国民統合のための大連合（GANA）のブケレ前サンサルバドル市長，「バモス」のアルバラード氏（企業家）。2019年2月3日に第一回投票が行われ，過半数を獲得する候補者がいない場合，3月10日に決選投票が行われる予定。

外交

1. 繁栄のための同盟「中米の繁栄と治安に関する会議」

11日～12日，ワシントンDCで「中米の繁栄と安全に関する会議」が開催され，オルティス副大統領が出席した。同会議は，米，墨，エルサルバドル，ホンジュラス，グアテマラの首脳級が集まり，中米の繁栄及び安全に関し協議することを目的としたものであり，今回は2017年6月にマイアミで開催された会議に続く2回目。

2. サンチェス・セレン大統領のキューバ公式訪問

23日～27日，サンチェス・セレン大統領がキューバを公式訪問し，ディアスカネル・キュー

バ国家評議会議長と会談した他、ホセ・マルティ記念碑に献花を行った。同大統領は今般のキューバ公式訪問は、米国による50年以上にわたるキューバに対する経済・財政・貿易にかかる制裁を終了することが喫緊の問題であるというエルサルバドル政府及び国民の姿勢を示すものである旨述べた。

今般のサンチェス・セレン大統領のキューバ公式訪問は同大統領による2度目のキューバ公式訪問であり、両国の関係強化を目的に教育、文化、経済及び保健の分野における閣僚級会合が行われた。

3. エルサルバドル人移民キャラバンの結成

28日及び31日、SNS上で呼びかけられていた2つのエルサルバドル人移民キャラバンが結成され、米国を目指しそれぞれ出発した。当地報道によると、先発キャラバンが約500人、後発キャラバンが約200人とされ、多くの未成年者も含まれている。

4. サンチェス・セレン大統領の訪中

29日、サンチェス・セレン大統領は中国を訪問するため出発した。8月21日のエルサルバドルと中国の外交関係樹立後、エルサルバドル首脳による初の訪中となり、習近平中国国家主席、李克強首相等と会談する。

経済

1. 予算案提出

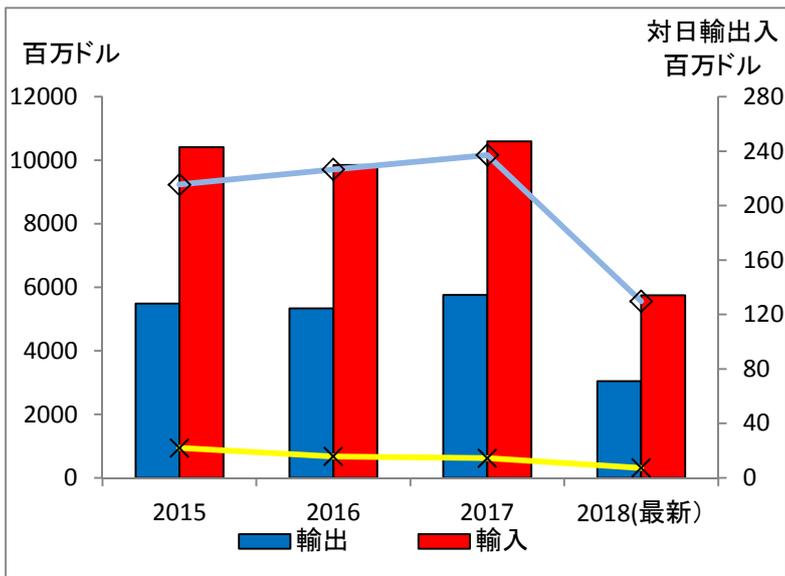
財務省は67億3,320万ドルとなる2019年予算案を国会に提出した。19年度予算案は、18年度よりも12億6,570万ドルほど増加しており、その中には2019年に償還期限を迎える8億ドルの長期国債が含まれている。国会での審議後、3分の2の賛成票を以て承認される予定。

2. エルサルバドル・カナダの航空協定署名

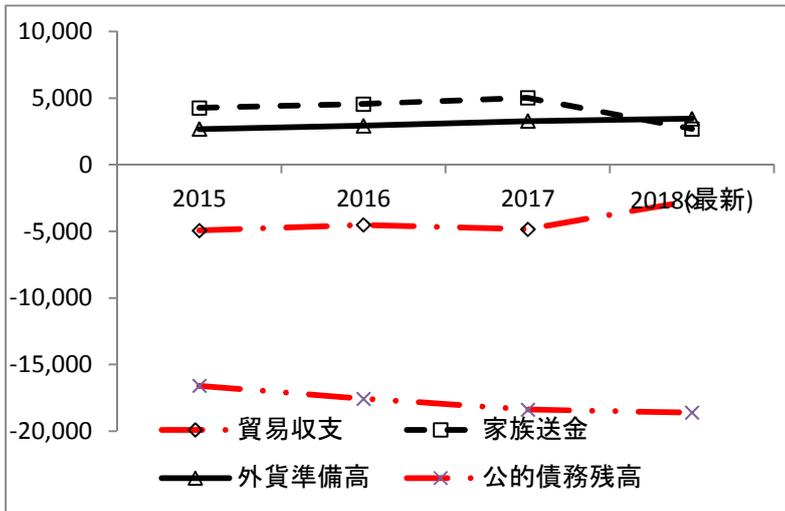
6日、エルサルバドル政府とカナダ政府は両国間の直行便就航のための航空協定に署名した。同協定により、両国間の直行便が更に増加する見込み。なお、同署名が発効されるには、両国内の国会で承認される必要がある。

3. 空港港湾運営委員会（GEPA）年次活動報告の実施

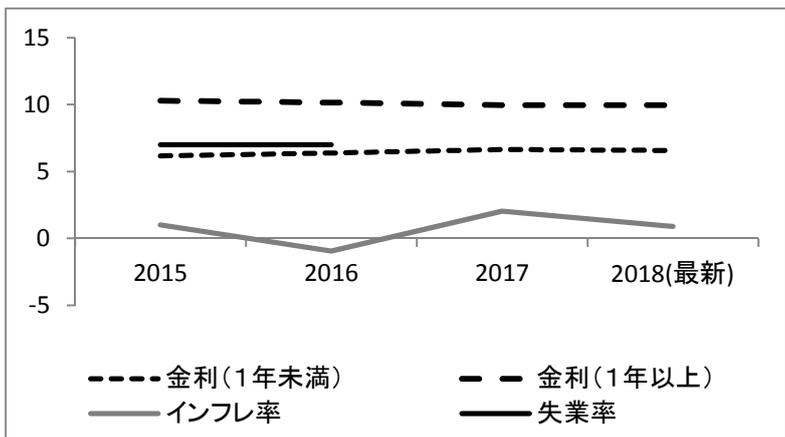
30日、空港港湾運営委員会（GEPA）は、2017年6月から2018年5月の期間における年次活動報告を実施した。同報告によれば、空港、港湾、鉄道分野で47プロジェクト、総額8,690万ドルの投資を実施（内訳：国際空港・イロパング空港で29プロジェクト、約7,830万ドルの投資、アカフトラ港で13プロジェクト、約833万ドルの投資、ラ・ウニオン港で4プロジェクト、約32万ドルの投資、FENADESAL（Ferrocarril Nacional de El Salvador）で1プロジェクト、約23万ドルの投資）。



・2018年7月までの輸出額は30億4,792万ドルとなった。輸入額に関しては、57億5,225万ドルとなり、貿易収支は27億433万ドルの赤字となった。



・2018年6月までの家族送金額は26億8,800万ドルとなり、前年同月比で9.3%増加した。その内25億1,080万ドル(93.4%)が米国からの送金であった。



2018年6月のインフレ率の上昇率は前年同月比0.9%となった。

治安

【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、10月の殺人件数は245件、本年1月から9月末日までの殺人件数は2,793件となり、昨年同時期と比べると約16%減少（2017年同時期よりも530件減）。なお、女性の殺人件数については、296件（前年同時期と比べると47件減少）であり、依然として、女性に対する暴力事件が日々報道されている。

2. 10月3日付、当地主要紙の報道によると、本年における交通事故による死亡者数は944名となった。交通事故の主な原因として、無理な車線変更や追い越し、不十分な車間距離、不注意運転によるものが挙げられる。なお、報道では、飲酒による人身事故で、そのほとんどが、人を死に至らしめる重過失の事故の原因となっている点が強調されている。

3. 10月6日、当国市民防災局は、熱帯低気圧「マイケル」の影響を受け、当国全土に大雨注意警報を発出した。被害状況は、地滑り、倒木により3名死亡、10名負傷、357棟が浸水等の被害、569名が避難。オレンジ警報（上から二番目）は、サン・ミゲル火山付近の4市（チナメカ市、サン・ラファエル・オリエンテ市、サン・ホルヘ市、サン・ミゲル市）、黄色警報（下から二番目）は当国海岸沿いに面した37市となった。10月18日、当国市民防災局は、熱帯低気圧「マイケル」の通過に伴い、大雨注意警報レベルを引き下げましたが、連日の大雨の影響により、死亡者6名、負傷者15名以上、避難者1,385名以上、浸水等の住宅被害1,765棟以上、倒木84件の被害が発生した。

4. 10月11日付、当地主要紙によると、パンチマルコ市からサンサルバドル中心街へ走行する路線バス内（ルート17）にて、傷害事件が発生し、2名の乗客が負傷した。治安当局によると、犯罪者がバスに乗り込み、乗客2名に対して金品を要求したが、拒否されたため、拳銃を発砲し、負傷させたとのこと。公共路線バスでの犯罪は、犯罪集団（マラス）の活動資金源の一つとなっており、犯罪被害に遭う確率が高くなることから、移動の際は、自家用車、ラジオタクシーを利用し、安全確保、危険回避に努める必要がある。なお、万が一、犯罪被害に遭った際は、絶対に抵抗（反抗）はせずに、身の安全を第一に考えた行動を行うこと。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 10月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

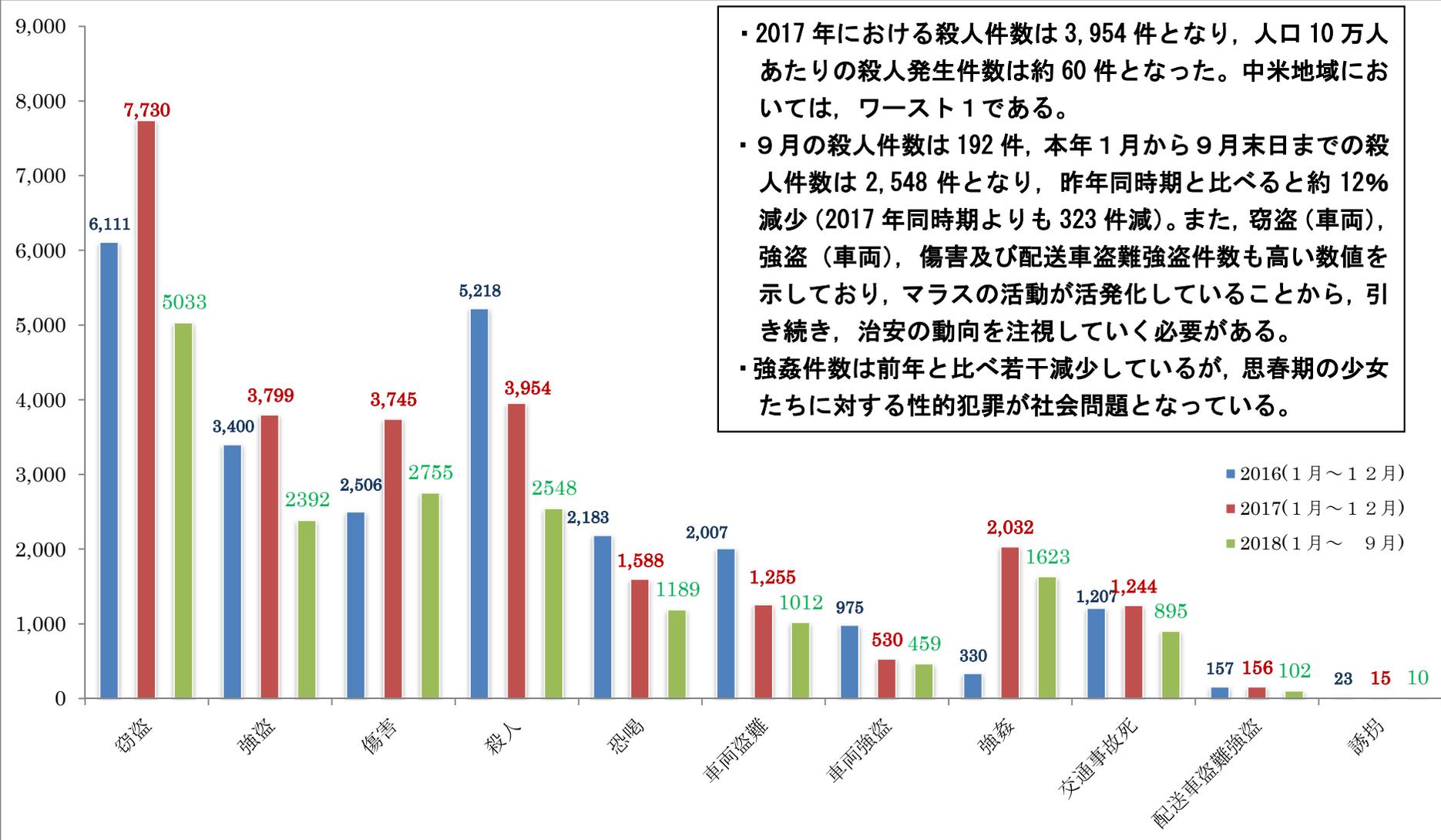
【観光地等における危険度レベル】

レベル1:十分注意区域

レベル2:不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリノ児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（9 月）過去 2 年との同時期の比較



主な大使面談来館者

- 10月09日 SATREP 連絡調整員：着任挨拶
- 10月11日 MoveAbility 代表、ISRI 代表：障害者用器具製造建物協力プロジェクト打合せ
- 10月12日 El Diario de Hoy 新聞社長：情報交換
- 10月15日 JICA 中南米部：地域協力打合せ
- 10月17日 双日メキシコ社長：表敬、ビジネス情報交換
- 10月17日 太平洋同盟国大使(メキシコ、ペルー、チリ)：打合せ・懇親
- 10月18日 FUNDE 総裁：水供給協力案件打合せ
- 10月22日 IUSA 社長他：社長交代挨拶・懇親
- 10月25日 GENTEC 市橋社長：AI利用語学教材販売促進
- 10月30日 UNICEF 代表：学校関係打合せ

(大使の外出打合せ・訪問件数：33件)